

帝釈自治振興区 しんこうセンターたより



第 390 号
(令和 8 年 9 月 4 日)
発行：帝釈自治振興区
電話：6-0055 (FAX 兼)

E-mail: taishaku@vesta.ocn.ne.jp
HP: http://taishaku.server-shared.com/

これからの主な行事予定・施設利用等

9月 4日(金)	行政文書	
9月 8日(火)	東城町自治振興区連絡協議会先進地視察研修会(雲南市)	
9月10日(木)	帝釈地区スポーツ協会役員会	19時
9月14日(月)	そばを食べる会	11時45分
9月14日(月)	健康麻雀	13時15分
9月16日(水)	いけばな教室	10時
9月18日(金)	行政文書	
9月30日(水)	かじかサロン	13時30分
10月 2日(金)	行政文書	
10月11日(日)	東城地区総合スポーツ大会	
10月18日(日)	ふれあい東城まつり	
10月21日(水)	いけばな教室	10時
11月 1日(日)	第19回帝釈もみじまつり	10時

その他の教室 箏曲教室(9/11 9/25) ステンドグラス(9/13)
グラウンド・ゴルフ(9/5 9/10 9/19 9/24)

ご厚志のお礼

見舞い返しとして

帝釈自治振興区帝釈支部へ

八谷 こすえ様より

ありがとうございました。

令和8年度 時悠館 ロビー展

「ひろしまのもみじ」 —伊藤之敏カエデ細蜜画展—

伊藤之敏さんが広島県内を30年かけて巡った、原画21枚が展示されています。

上帝釈峡エリアで新たに発見、タイシャクイタヤ画などが展示されています。日本にはカエデの仲間は26種あるとされ、広島県には22種が知られています。それぞれの種はいずれも、私たち人類の出現よりも前から、地球上で生きた歴史をもっています。昨年11月、当館で開催された「自然を見つめよう会」研修行事では、タイシャクイタヤは、帝釈峡周辺と朝鮮半島南部の石灰岩地にのみ生き残った、希少な「大陸系遺存種」として説明されたとのことでした。タイシャクイタヤは、カエデの中でも特に数奇な歴史を持つ種だそうです。この機会に画展を秋の帝釈紅葉かねて是非、見に行ってください。

会期：令和8年9月1日(火)～令和9年1月31日(日)

会場：庄原市帝釈峡博物館展示施設 時遊館ロビー(庄原市東城町帝釈末渡1909番地)

※11月7日(土)午後13時30分～ 伊藤之敏さんの市民講座が予定されています。



★スッキリと「夏の環境整備」8月23日（日）★

旧帝釈小学校周辺とグラウンド周辺等の環境整備を行いました。当日は、天気も良く暑い日差しがさす中、生い茂っていた雑草の草刈りや集草、木の剪定などを行いました。地域の皆さんの協力で、すっきりした環境の中で色々な行事を開催することができます。ありがとうございました。参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。



帝釈地域グラウンド・ゴルフ大会 盛会に終了！！

真夏日を思わせる 8 月 30 日の暑い日にグラウンド・ゴルフで熱戦を繰り広げられました。今回は、帝釈郵便局が協賛でしたので、郵便局から多くの賞品の提供がありました。地域親睦の大会です、試合の合間には和気あいあいと話がはずみ楽しい大会となりました。お疲れさまでした。

団体の部

優勝	未渡	294
準優勝	山中下	307
第3位	帝釈	314
第4位	始終	318
第5位	竹渡	325
第6位	宇山	358



個人男性の部

優勝	吉原正登さん
準優勝	井上信宏さん
第3位	瀧口安則さん



個人女性の部

優勝	瀧口裕子さん
準優勝	小塩麗子さん
第3位	国原幾子さん



帝釈包括ケアネット連絡会で学習と地域課題の把握を！

9月2日（水）帝釈包括ケアネット連絡会を開催しました。二ヶ月に1度のペースで第一水曜日に開催しています。今回は「帝釈地域で暮らすために必要なこと」のテーマで、地域では見守りや声かけが必要であること、また介護保険制度の仕組みや使い方などについて学習しました。そして、帝釈地域で抱えている介護予防の課題について情報共有しました。

介護保険は知っているようで、よく分からない！！

○介護保険とは？「介護のリスクを家族だけで抱え込まず、社会全体で支える制度」です。

○40歳以上の全員が保険料を払い、介護が必要になったとき、少ない負担（ほとんどの場合1割負担）でサービスが利用出来る制度です。

1. こんな変化を見つけたら相談しましょう。

ものをとられた／ごみ出しが出来なくなってきた／部屋が急に汚れてきた／同じ話を何度も繰り返す／火の不始末が増えた／歩くのが遅くなり、転びそうになる／他

2. 介護保険を使う時は、まず要介護認定を申請して下さい。

3. 困ったらまず地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、帝釈自治振興区へ相談

4. 見守る側は「最初の気づき手」として、専門窓口へ繋ぐ重要な役割を持っています。

※包括ケアシステムは自助・互助・共助・公助 のそれぞれのネットワークで成り立ちますが、自助「本人・家族」のつながりが一番大切な結びつきだと考えます。